

みらい

発行責任者/渡部 英治 ■ 編集責任者/三浦 茂人



福寿草(フクジュソウ・キンボウゲ科)
「元日草」「朔日草」(ついたちそう)の別名を持ち、「新年を祝う花」として知られる山野草。早春に3~4cm程の黄色い花を咲かせます。

No.2

主な内容

平成27年

9月議会・12月議会
要旨報告

討議資料

県民の幸せと県政発展のため今年も全力で頑張ります!

2016年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。



さて、「あきた未来総合戦略」の本格スタートとなる本県にとって、人口減少対策と大転換を迎える農業問題は、県政の最重要課題であり、「子育て支援」や「若者の定住」等の重要施策に、真正面から果敢に取り組んでいかなければなりません。

私たち「みらい」は、県議会第2会派として、県民の幸せと県政発展のため、今年も全力で頑張る所存であります。

引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさついたします。



秋田県議会
会派みらい 代表

渡部 英治

あきた未来総合戦略

「人口減少の克服」と「秋田の創生」

平成27年度～31年度

「高質な田舎」を思い描きながら「日本に貢献する秋田、自立する秋田」を目指して



基本目標 ①

産業振興による仕事づくり

●雇用創出数 5年間で12,630人

基本目標 ②

移住・定住対策

●Aターン就職者数 1,061人(平成26) → 1,700人(平成31)
●本県への移住者数 20人(平成26) → 220人(平成31)

基本目標 ③

少子化対策

●婚姻数 3,842件(平成26) → 4,020人(平成31)
●合計特殊出生率 1.34(平成26) → 1.50(平成31)

基本目標 ④

新たな地域社会の形成

●「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 →平成31年までに80%
●社会活動・地域活動に参加した人の割合 46.4%(平成26) → 68.0%(平成31)

※総合戦略の詳細は秋田県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」に掲載しています。

9月議会

平成27年・第3回定例会
9月10日～10月8日

秋田の創生に向けた取組のほか、地域における医療・介護の充実を図るための事業、公共事業等について計上した。

平成27年度 一般会計 補正予算 **36億4,533万円**
補正後の規模 **6,114億 3,474万円**

9月議会で可決された主な議案

●航空機産業強化支援事業 **459万円**
航空機産業を担う人材を育成するため、技術者を対象とした研修会を開催するほか、高校生を対象に特別講義や工場見学会を実施する。

●**新**女性の活躍加速化事業 **550万円**
女性の活躍をさらに促進するため、普及啓発活動を強化する。

●**新**県外進学者等の県内定住ライフプラン推進事業 **1,141万円**
若者の県内就職や定住を促進するため、県の就活情報サイトを充実させるとともに、大学1、2年生を中心にライフプランセミナーや県内企業見学バスツアーを開催する。

●**新**病床機能分化連携促進事業 **1,336万円**
医療需要に即した病床機能の転換を進めるため、県内病院が行う設備整備等に対し助成する。

●**新**在宅医療・介護ICT連携推進事業 **533万円**
地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・介護従事者間で情報共有を図るためのシステム導入に対し助成する。



※写真はイメージ画像です。

9月議会 一般質問



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 新たな文化施設について
 - 立地環境について
 - 駐車場について
 - 国有地との連携について
 - 整備手法について
- ◆ マイナンバー制度について

丸の内 くるみ [秋田市]

- ◆ 木材産業振興について
- ◆ 中小・小規模企業振興について
- ◆ 学童保育の充実について
- ◆ 旧県立美術館について



9月議会 総括審査質問



渡部 英治 [大仙市仙北郡]

- ◆ 地方創生(秋田版総合戦略)について
- ◆ 新たな文化施設について



佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 県・市連携文化施設の整備方針について

秋田県民会館

決算 特別委員会

平成27年10月19日～11月9日

一般会計および特別会計の決算について審査

丸の内くるみ 副委員長



総括審査質問

東海林 洋
[湯沢市雄勝郡]

- ◆ 国際化の推進について
- ◆ 高等学校における図書教育の充実について
- ◆ 新たな文化施設について



12月議会

平成27年・第3回定例会
11月27日～12月22日

ハタハタの資源回復に向けた緊急対策事業などに
予算を計上した。

12月議会で可決された主な議案

●新ハタハタ資源再生緊急対策事業 …… 2,678万円

資源量が急減している現状に鑑み、ハタハタ資源の回復を図るための緊急対策を実施する。

●地域医療介護総合確保基金積立金 3億7,739万円

地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。



平成27年度

一般会計 補正予算 5億3,987万円

補正後の規模 6,119億7,461万円

12月議会 一般質問

東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ エネルギー政策について
- ◆ 国際観光の推進について
- ◆ 林業・木材産業の更なる振興について
- ◆ 中高一貫教育校について
- ◆ 雪下ろしの安全対策について



佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 人口ビジョンとあきた未来総合戦略について
- ◆ TPPと農業政策について
- ◆ 第七次秋田県高等学校総合整備計画について
- ◆ 県と秋田市が連携して整備する文化施設について



12月議会 総括審査質問

丸の内くるみ [秋田市]

- ◆ 林業・木材産業について
- ◆ 子どもの救急蘇生について
- ◆ 県・市連携文化施設について



質疑者席

秋田県立羽後高等学校

- ◆ 第七次秋田県高等学校総合整備計画について



県外調査

〈北海道／平成27年8月4日～6日〉

北海道オホーツク総合振興局



管内の農林業と観光業の状況について

東京農業大学 オホーツクキャンパス



生物産業学部への取り組みについて

予算特別委員会

土谷勝悦 副委員長

予算議案及びその関連事項などを審査するため、議員全員をもって構成される特別委員会

設置期間／
平成27年 5月11日
～平成29年 5月31日



秋田県監査委員 議会選出 三浦 英一

事務や事業の管理などが適正に行われているか監査や審査等を実施

地方創生に関する調査特別委員会

渡部英治 副委員長

秋田版「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたり、秋田の創生に向けた政策提言を行うために設置

設置期間／平成27年
5月11日～10月8日



渡部 英治の 県議会レポート

今回は、9月議会総括審査における
質疑の概要について報告します。

●地方創生（秋田版総合戦略）について



渡部 知事、この地方創生は正に人口減少対策であり、本会議の冒頭でも「大胆かつ実効性のある取組」により、「本県が率先して地方創生を成し遂げたい」と述べていますが、正に地方創生にかける強い姿勢だと感じました。改めて、知事が強調する独自性とやる気について伺います。

知事 地方創生そのものは、5年で終わるというものではなく、長期的に取り組んでいく必要があると思います。5年間でできるもの、実際に現実性のあるものを多く盛り込みたいと思います。例えば、産業振興についても、新しい県の政策を提示しながら企業誘致に歩いたり、様々な施策について県民の皆様と語り合ったりしながら、まとめている最中です。企業誘致に当たっては、色々な面で県としての覚悟、あるいは大胆な政策提言や制度設計等を示すことにより、相手の反応が高まると確信しています。

渡部 議会では、地方創生に関する調査特別委員会を設置していますが、私もその委員のメンバーとして具体的に何点か独自性を求める提言をしております。今回県が示した子育て支援の関係、奨学金の問題については、一歩進んだ取組を提示していると認識しています。そこで伺いますが、子育て支援については、シンプル化や所得制限をなくすことや、奨学金返還の全額免除といった

独自策の提言に対して、知事はどのように認識していますか。

知事 まだ、若干の議論の余地はあります。今、最終的に整理中ですが、大胆とはいっても県の財政を全く無視するわけにはいきません。ただ、できるだけ全国でも突出した姿にしたいということで作業を進めています。

渡部 地方創生の独自性ということに関連して、大仙市が取組んでいる大曲の花火プロジェクトはマッチしていると思います。先般、大変うれしいニュースがありました。2年後の国際花火サミットが大曲の花火に決定したということです。秋田の魅力を発信する観光の部分、それから一つの起爆剤として期待を持てるのではないかと。その点について、知事の認識はどうですか。

知事 大曲の花火プロジェクトは、私も最初から関わっています。市長や商工会議所会頭とも相談や議論を重ねています。今回のサミットの件については、県は全面的に応援することにしています。正にこれが地方創生の、あるいは民間と行政、そして地域住民一体となった協働プロジェクトのモデル例ではないかと思っています。

とことんやります！「あなたの街で県議会」にて 県民との活発な意見交換会を実施



県民に開かれた議会を目指す狙いで、昨年に引き続き今年も11月2日の鹿角市、19日の由利本荘市に続き、11月30日には大仙市で開催され、農業問題や地域活性化などについて、活発な意見交換が行われました。



大曲駅前の再開発エリア「大曲ヒカリオ」のにぎわい創出についての質問に答える渡部県議